

愛と言わなきや

わからなйдらうか



松野カラ松は
理由を求める
男だ

松野カラ松は
理由を求める

太陽はなぜ
昇るのか、
夏はなぜ
暑いのか、

理由を知って
先にならな
いのだ

松野カラ松は
馬鹿だ

馬鹿なうえに
頑固だ

その理由が
正しくなうと
関係ない

ただ松野カラ松が
納得すれば松
野カラ松は唯
一の真実となる

「花はなぜ
咲くの」

「氷はなぜ
冷たいの」

「僕はなぜ
六つ子なの」

—だからこれも
想定範囲内

お前が俺を
好きになる理由が
わからない

ちゃんとした理由が
なきゃ駄目？
一緒にいるうちに
いつの間にかさ……

駄目に
決まってるだろ！

それなら他の
奴らでも
良いんじや
ないのか？

なんでだ？

……っ
なんでって……





こうして58回目の
告白もあえなく
玉砕することと
なったのだ



これで何回目
だっけ?
56回目?

58回

…ふられてねえよ



なに、おそ松兄さん
また振られたの?



飽きもせず
よくやるよねえ…

最初の頃は
兄弟で何やってんだよ
マジありえねえとか
思ってたけどさあ



チヨロちゃん
傷心のお兄様に
言い過ぎじゃねえ?

ここまでくると
可哀想に
なってくるよね

別に応援は
しないけどさ



はあ!?何それ弟に
数十回単位で告白
してることを方が
よっぽど恥ずかしいわ!!
馬鹿だろ!?

うるせー!!俺には
俺のやり方があんだよ!!
いくらあのポンコツでも
何にも伝わって無エ訳じゃ
無いだろ!!

伝わるわけねえ
だろうが!!あの
ポンコツに!!

ンなのわかんねえ
だろうがよオ
このシコ童貞が!!





上手くやれよー
馬鹿兄貴共



「いつ決定的な拒絶が
されないとも
限らないんだから」

そんな
わかん
ないや
がっつ
て！
安んず
るっつ
の！
言っ
て！
勝手



そんな
んでこ
いつは
なんに
だっけ
なよ！
ここ
に
来
る
ま
で
も
自
分
か
ら
は
一
言
も
喋
ん
ね
え
し





ほら、
お兄ちゃん
寂しいぞ？



ほら、
向けよ

お



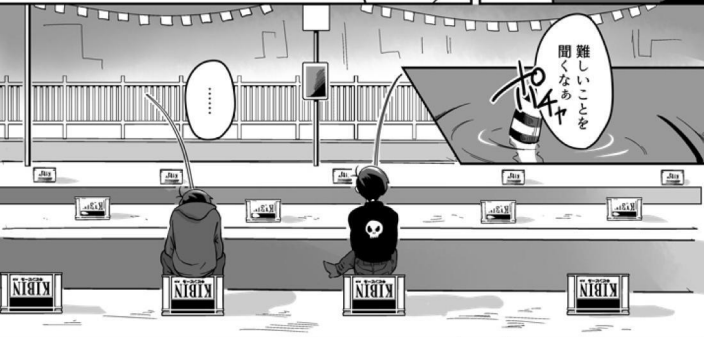
こっち向け、
向け



こっち向けよ
カラ松









わかり合える
ことも、
わかり合えない
ことも、

あるがままを
受け入れて

一緒に歩いて
いきたいと願う
気持ちだと思う

——松野カラ松は
理由を求める男だ



…おそ松



理由を知って
納得しない
その先に
進めない
のだ

お前の
気持ちを
見せてくれ



どっか、進む先は
ハッピーエンドで
あってほしい

カラ松、
好きだよ



来世じゃない、
俺はこの人生で
幸せになりたい



ご都合主義な
奇跡が起きたって
いいじゃないか

こんちやうばい
二人のことぐらい
許してくれ

許してくれ

まあカリスマで
レジェンドな
お兄様だからさ？

ただね、
ただ
傍にカラ松が
いたらもつと
幸せだろうなって

別に一人でも
全然問題なく
幸せになれるん
だけだよ？

神様
どうか

許してくれ

それだけだよ

…それだけだ

ぎゅう…



どぐん

おそ松は
執着を恋だと
勘違いしてるんじゃないか？

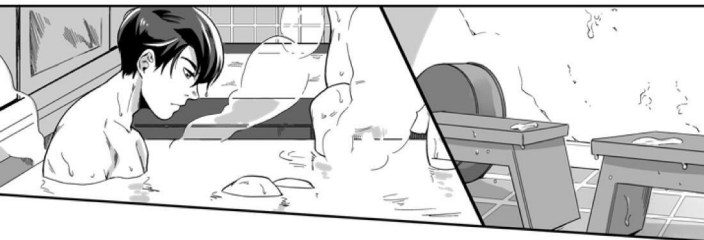




好きだ



好きだ



好きだよ、





いつもは何にでも
愛だのなんだの
振りまいてる
くせにさ、



俺のは
「好き」の一言さえ
受け取ってくんないの？



ヤーン

.....



ハッ



ひどいやつだよ

はー
泣きそう
酷いよ
ほんと...

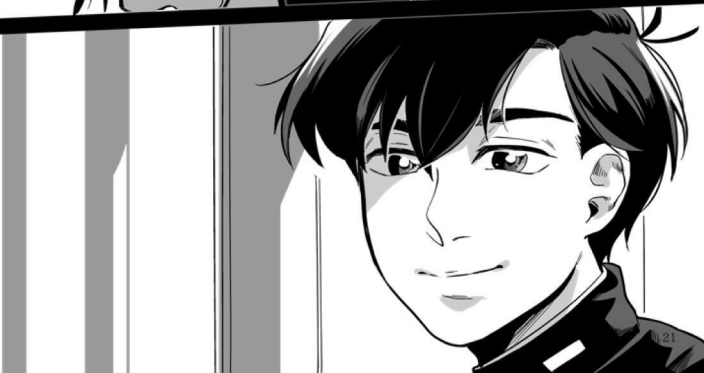


好きだよ
カラ松

きゅん
ずっと



好き





好きだよ
カウ松

お前のことが
好きだ

傍に
いたい

幸せそうに
笑ってお前が
一番好きなんだ

俺の幸せは
お前だよ

お前
嫌じゃな
きや

お前
駄目じゃ
ななんだ

おそ松は



執着を恋だと
勘違いしてるんじゃないか？



—
...

好きな相手の
幸せが自分なら、
どんなに
幸せだろう





諦めたの？
おそ松兄さん

それで、

ん？
ううん？



今さら
離すわけ
ないじゃん

充電期間って
やつだよお

奇跡は
起こらない



引くわー

うわ……
執着心
えげつな……

違うよ
チヨロちゃん

純粹いゝな
ビュアビュアゝな
恋心よ？

都合の良い
ハッピーエンドも
無い



それでも

でもさ、



この気持ちは
真実のはずだ

愛ってやつじや
ないのかなって

これってさ、

おそ松
兄さん…

ん？

そういうのは
そいつを見て
言ってやった方が
いいと思うよ









進そ納理
めの得由
な先をし
ないに知
のだいと

なあ
おそ松

それ
正しか
しくら
うと
関係
ない
な
ら
う
と

聞いて
ほしい
こと
が
ある
んだ



いいか？

納得さえ
すれば、

それは
松野一
無二の
真実と
なる

始まりそうで始まらない、ちょっと始まる
おそ松とカラ松の話でした。

タイトルは中島みゆきの「目を開けて最初に君を見たい」から。

「愛と言わなきゃわからないだろうか」

発行日:2016/11/06

発行者:痔レンマ(でんかく)/でこっぱち

連絡先:dekoppachi.zirenma@gmail.com

Pixiv : ID=1412347

Twitter : @denkaku

印刷所:(有)金沢印刷

※原作・アニメ・その他関係者様とは一切関係ありません。
オークション・フリマアプリへの出品、複製、無断転載は
ご遠慮ください。

←カラ松SIDE

恋というのは
もつと
素敵なものだと
思ってた

お前は

「好き」

と言ったとき、
怒ったように
困ったような
悲しそうなか
りだったから

とても
素敵な恋を
しているよう
に思えなかつ
たんだ

だから、
きつと違っ
たんだと
思った

なあ
おそ松

恋をするのは
どんな気分
だったんだ？

俺の返事を
待つ間は
どんな気持ち
だった？

胸が張り裂ける
ようだったのか？

世界中が
見えていたのか？



そういう
ものか
イェン、



ああ、
愛と言わなきゃ
わからないだろうが！



dekoppachi

2016/11/6

Mr. osomatsu fanfiction
osomatsu × karamatsu



dekoppachi

2016/11/6

Mr. osomatsu fanfiction
osomatsu + karamatsu

わからないだろうか

愛と言わなきゃ

最初から
カラ松からの矢印は
あったんですよ